

講義名	心理学概論			授業形態	
担当教員	福田 哲也	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

心理学は、人の心の働きや心に関わる現象を科学的に検討する学問である。そして心理学の領域は非常に多岐にわたる。この授業では、心理学の様々な領域の中でも感情心理学、パーソナリティ心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学について概観する。それらを通して、心理学に関する基礎知識や考え方、人の心の特徴を理解する事を目的とする。

到達目標

感情・動機づけと行動との関わりを説明できる。
 性格に関する考え方や測定方法を説明できる。
 人の発達による心の変化を説明できる。
 人間士が関わることで生じる現象を説明できる。
 心が健康であるために必要なものを説明できる。

提出課題

各授業回でリアクションペーパーの提出を求める。記載内容は、授業に対するコメントや質問等である。なおリアクションペーパーの提出は成績評価とは独立したものである。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーに記載された質問、当該授業回に関する要望（再度の説明や関連内容に関する説明の要望）に対しては、次回授業時に受講生全体に対して返答する。

評価の基準

・授業内確認テストにより総合的に評価する。
 ・授業内確認テストは中間テストと最終テストの2回実施する。

注意点
 (a) 本授業の成績評価は上記のみに基づく。特定個人への追加課題や再テストなど、受講生の公平性を欠くような対応は断じて行わない。
 (b) 成績評価の対象者は、授業の欠席回数が総授業回数の3分の1未満の受講生のみである（学則第16条に準ずる）。授業全体で出席回数が一定に満たない場合（全15回の授業において出席が11回未満の場合）、確認テストの得点に関わらず、「放棄」となる。
 (c) 上記(b)の通り、出席が成績評価の前提となるため、出席に関する不正行為は成績評価に関する不正行為（カンニング・剽窃等）と同義とみなし、出席に関する不正行為を行った受講生および関与した受講生は不正が確認された時点で本授業の成績評価を「放棄」とする。

履修にあたっての注意・助言他

・必要に応じて教員の説明を自分でノートや資料にメモすることが求められる。
 ・心理学という学問をより理解する上では、基礎心理学の受講を推奨する。
 ・認定心理士の資格取得を希望する場合は、単位取得が必要な科目である。
 ・公的な大会や行事、忌引きなどやむを得ない事情での授業欠席は、欠席届および証明書を提出することで、欠席扱いにならない場合がある（証明書がない場合や本人の不注意、欠席事由に正当性が認められない場合などは除く）。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.心理学 新版。	黒藤 隆・森 敬昭・遠藤 由美・玉瀬 耕治	有斐閣	4620	9784641053861
.心理学・入門：心理学はこんなに面白い 改訂版。	サトウ タツヤ・浜邊 芳之	有斐閣	2090	9784641221383
.はじめて出会う心理学（第3版）.	長谷川 寿一・東條 正城・大島 尚・丹野 義彦・廣中 直行	有斐閣	2200	9784641221451

その他

各回で資料を配布する。

授業計画

- オリエンテーション：心理学とは
 予習・復習
 ・配布資料を確認し、用語や理論を説明できるようにしておくこと（60分）
 ・授業で扱った心理的概念や現象が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと（90分）
 ・参考文献など授業に関連する書籍や論文を図書館やインターネット上から見つけだし、熟読すること（90分）
- 感情：感情生起に関する理論
 予習・復習
 ・配布資料を確認し、用語や理論を説明できるようにしておくこと（60分）
 ・授業で扱った心理的概念や現象が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと（90分）
 ・参考文献など授業に関連する書籍や論文を図書館やインターネット上から見つけだし、熟読すること（90分）
- 感情：感情の表出・感情制御
 予習・復習
 ・配布資料を確認し、用語や理論を説明できるようにしておくこと（60分）
 ・授業で扱った心理的概念や現象が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと（90分）
 ・参考文献など授業に関連する書籍や論文を図書館やインターネット上から見つけだし、熟読すること（90分）
- 動機づけ：生物的動機・内発的動機・社会的動機
 予習・復習
 ・配布資料を確認し、用語や理論を説明できるようにしておくこと（60分）
 ・授業で扱った心理的概念や現象が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと（90分）
 ・参考文献など授業に関連する書籍や論文を図書館やインターネット上から見つけだし、熟読すること（90分）
- 動機づけ：動機づけと日々の行動
 予習・復習
 ・配布資料を確認し、用語や理論を説明できるようにしておくこと（60分）
 ・授業で扱った心理的概念や現象が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと（90分）
 ・参考文献など授業に関連する書籍や論文を図書館やインターネット上から見つけだし、熟読すること（90分）
- パーソナリティ：パーソナリティの考え方とその測定
 予習・復習
 ・配布資料を確認し、用語や理論を説明できるようにしておくこと（60分）
 ・授業で扱った心理的概念や現象が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと（90分）
 ・参考文献など授業に関連する書籍や論文を図書館やインターネット上から見つけだし、熟読すること（90分）
- パーソナリティ：パーソナリティの形成
 予習・復習
 ・配布資料を確認し、用語や理論を説明できるようにしておくこと（60分）
 ・授業で扱った心理的概念や現象が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと（90分）
 ・参考文献など授業に関連する書籍や論文を図書館やインターネット上から見つけだし、熟読すること（90分）
- 授業前半の振り返り
 予習・復習
 ・これまでの授業資料やノートを確認し、用語の意味や理論を自らが説明できるようにしておくこと（120分）
 ・授業内確認テストにおいてできなかった箇所を確認し、該当箇所を理解しておくこと（120分）
- 発達：認知の発達
 予習・復習
 ・配布資料を確認し、用語や理論を説明できるようにしておくこと（60分）
 ・授業で扱った心理的概念や現象が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと（90分）
 ・参考文献など授業に関連する書籍や論文を図書館やインターネット上から見つけだし、熟読すること（90分）
- 発達：人間関係の発達
 予習・復習
 ・配布資料を確認し、用語や理論を説明できるようにしておくこと（60分）
 ・授業で扱った心理的概念や現象が、自身の日常生活とどのように関わっているのかを考え、説明できるようにしておくこと（90分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

人間社会学部ディプロマ・ポリシー
 人間社会学部では、朝やサービスの流通に関わる社会の構造と変動、およびそれをもたらす人間の行為・行動を解き明かすことができる人材を育成します。
 人間の心理プロセスやその原理、行動や精神病理のメカニズムを学ぶことは、社会を構成している人々の行為・行動を規定したり、変化させたりするものが何かを理解することにつながる。そのため、本授業は、人間社会学部のディプロマ・ポリシーを達成することに貢献する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

・授業ではLMS（学習支援システム）であるCampus-Xsを用いるため、ウェブにアクセスできる端末が必要となる。